

## 2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月5日

上場会社名 株式会社 シダー  
 コード番号 2435 URL <http://www.cedar-web.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 座小田 孝安  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 下屋敷 寛

TEL 093-513-7855

四半期報告書提出予定日 2020年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	7,771	5.2	550	359.0	411		284	
2020年3月期第2四半期	7,387	4.1	119	51.0	31		57	

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 285百万円 ( %) 2020年3月期第2四半期 56百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	24.78	
2020年3月期第2四半期	5.00	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	18,768	1,507	8.0	131.36
2020年3月期	18,181	1,268	7.0	110.50

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 1,507百万円 2020年3月期 1,268百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		4.00	4.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,630	3.3	879	60.0	599	133.2	385	83.7	33.58

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	11,476,000 株	2020年3月期	11,476,000 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	137 株	2020年3月期	137 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	11,475,863 株	2020年3月期2Q	11,475,863 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後の様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	10
(1株当たり情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

### (1) 経営成績に関する説明

当四半期連結会計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、世界経済の減速懸念の高まりなど不透明感が一層強まる状況となりました。

介護サービス業界におきましては、引き続き超高齢化社会への移行に伴い、介護サービスの利用者数は増加し、需要は更に高まっております。

その一方で、様々な業種にて人材不足が叫ばれている中、介護サービス業界におきましても、海外の人材も含め、人材確保に取り組むことは急務となっており、有資格者の確保はとりわけ困難な状況となっております。それらを改善するために、業界では、介護事業に従事することが社会において魅力があり、生きがいを持てる環境造りが求められております。

このような状況のもと当社グループにおきましては、収益面では、既存施設において施設稼働率を上昇させるため、新規利用者の獲得とサービスの向上に努めました。費用面では、介護職員の定着化により人材募集費等の経費を抑制することができました。また管理部門の諸経費抑制等により販売費及び一般管理費は減少致しました。また2020年3月以降は新型コロナウイルス感染症の流行により福岡県のデイサービス事業の内1事業所で約1ヵ月間閉鎖と影響が発生しましたが、徐々に利用再開者が増え、回復傾向にあります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は77億71百万円（前年同四半期比5.2%増）となり、営業利益は5億50百万円（前年同四半期比359.0%増）、経常利益は4億11百万円（前年同四半期は損失31百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億84百万円（前年同四半期は損失57百万円）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

#### (デイサービス事業)

当セグメントにおきましては、既存デイサービス施設のサービスの質の向上により施設稼働率の向上に努めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の流行により、ご利用を控える利用者が増え、福岡県では1事業所で約1ヵ月間閉鎖と影響が発生しました。その結果、売上高は17億51百万円（前年同四半期比1.9%減）、セグメント利益は1億51百万円（同20.0%減）となりました。

#### (施設サービス事業)

当セグメントにおきましては、既存の有料老人ホームの入居者獲得に注力し、入居率の向上に努めました。その結果、売上高は54億95百万円（同7.5%増）、セグメント利益は8億87百万円（同57.0%増）となりました。

#### (在宅サービス事業)

当セグメントにおきましては、利用契約者の新規開拓、利益率の改善のため人員配置や業務手順の見直し等、効率的な運営に取り組むことに注力してまいりました。その結果、売上高は4億70百万円（同3.4%増）、セグメント損失は33百万円（前年同四半期はセグメント損失32百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて5億86百万円増加して187億68百万円となりました。その内訳は、流動資産の増加47百万円、固定資産の増加5億39百万円によるものであります。負債につきましては、前連結会計年度末に比べて3億47百万円増加して172億61百万円となりました。その内訳は、流動負債の増加7億58百万円、固定負債の減少4億10百万円によるものであります。また、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて2億39百万円増加して15億7百万円となりました。その内訳は、利益剰余金の増加2億38百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて40百万円減少して8億29百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果、獲得した資金は5億34百万円（前年同四半期比505.2%増）となりました。その主な内訳は、収入要因として税金等調整前四半期純利益4億11百万円、減価償却費3億8百万円、支出要因として、売上債権の増加額1億2百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、使用した資金は8億35百万円（前年同四半期比557.8%増）となりました。その主な内訳は、支出要因として、有形固定資産の取得による支出8億22百万円、預り保証金の返還による支出40百万円、収入要因として、預り保証金の受入による収入46百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、獲得した資金は2億60百万円（前年同四半期は82百万円の使用）となりました。その主な内訳は、支出要因として、短期借入金の返済による支出9億20百万円、長期借入金の返済による支出3億85百万円、リース債務の返済による支出92百万円、収入要因として、短期借入れによる収入17億4百万円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による影響を合理的に算定することが困難であることから未定としておりました。現時点においても、新型コロナウイルス感染症は、完全な解決の時期が見込めない状況にありますが、直近の感染状況や経済動向を踏まえ、当第2四半期連結累計期間の業績及び現時点において入手可能な情報に基づいて、連結予想を算出いたしました。詳細は2020年11月5日付で公表いたしました「通期業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	870	829
売掛金	2,563	2,666
その他	209	194
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	3,640	3,688
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,794	4,687
土地	2,181	2,181
リース資産（純額）	4,599	4,476
その他（純額）	209	1,036
有形固定資産合計	11,785	12,382
無形固定資産	78	78
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,266	2,246
その他	413	378
貸倒引当金	△2	△5
投資その他の資産合計	2,677	2,619
固定資産合計	14,540	15,080
資産合計	18,181	18,768

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	205	223
短期借入金	3,005	3,789
1年内返済予定の長期借入金	737	681
未払法人税等	187	171
賞与引当金	230	260
その他	1,201	1,200
流動負債合計	5,568	6,326
固定負債		
長期借入金	4,223	3,893
リース債務	5,650	5,553
退職給付に係る負債	469	500
その他	1,001	986
固定負債合計	11,345	10,934
負債合計	16,913	17,261
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	432	432
資本剰余金	308	308
利益剰余金	529	768
自己株式	△0	△0
株主資本合計	1,269	1,508
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△1	△0
その他の包括利益累計額合計	△1	△0
純資産合計	1,268	1,507
負債純資産合計	18,181	18,768

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）
売上高	7,387	7,771
売上原価	6,558	6,632
売上総利益	829	1,138
販売費及び一般管理費	709	588
営業利益	119	550
営業外収益		
受取利息	5	4
受取賃貸料	7	7
受取手数料	—	6
その他	12	11
営業外収益合計	24	31
営業外費用		
支払利息	174	169
その他	2	0
営業外費用合計	176	170
経常利益又は経常損失（△）	△31	411
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失（△）	△31	411
法人税、住民税及び事業税	46	124
法人税等調整額	△20	3
法人税等合計	25	127
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△57	284
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失（△）	△57	284



（四半期連結包括利益計算書）  
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△57	284
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	1	0
その他の包括利益合計	1	0
四半期包括利益	△56	285
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△56	285

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失（△）	△31	411
減価償却費	316	308
貸倒引当金の増減額（△は減少）	0	2
賞与引当金の増減額（△は減少）	38	30
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	32	32
受取利息	△5	△4
支払利息	174	169
売上債権の増減額（△は増加）	△160	△102
仕入債務の増減額（△は減少）	△3	17
その他	△59	△22
小計	301	842
利息の受取額	0	0
利息の支払額	△174	△170
補償金の受取額	4	—
法人税等の支払額	△44	△138
営業活動によるキャッシュ・フロー	88	534
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△140	△822
無形固定資産の取得による支出	△4	△9
敷金の差入による支出	—	△10
敷金の回収による収入	—	0
預り保証金の返還による支出	△42	△40
預り保証金の受入による収入	60	46
その他	0	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△127	△835
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	990	1,704
短期借入金の返済による支出	△895	△920
長期借入れによる収入	350	—
長期借入金の返済による支出	△415	△385
リース債務の返済による支出	△88	△92
配当金の支払額	△22	△45
財務活動によるキャッシュ・フロー	△82	260
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△120	△40
現金及び現金同等物の期首残高	811	870
現金及び現金同等物の四半期末残高	690	829

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	デイサービス 事業	施設サービス 事業	在宅サービス 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,785	5,110	454	7,350	36	7,387
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	309	309
計	1,785	5,110	454	7,350	346	7,697
セグメント利益又は 損失 (△)	188	565	△32	721	40	762

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、給食事業及び福祉用具事業等  
あります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	721
「その他」の区分の利益	40
セグメント間取引消去	△0
全社費用 (注)	△642
四半期連結損益計算書の営業利益	119

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	デイサービス 事業	施設サービス 事業	在宅サービス 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,751	5,495	470	7,717	54	7,771
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	442	442
計	1,751	5,495	470	7,717	496	8,213
セグメント利益又は 損失 (△)	151	887	△33	1,005	64	1,069

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、給食事業及び福祉用具事業等  
あります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,005
「その他」の区分の利益	64
セグメント間取引消去	△0
全社費用（注）	△518
四半期連結損益計算書の営業利益	550

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

（1株当たり情報）

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）
1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失（△）	△5円00銭	24円78銭
（算定上の基礎）		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）（百万円）	△57	284
普通株主に帰属しない金額（百万円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）（百万円）	△57	284
普通株式の期中平均株式数（千株）	11,475	11,475

（注）前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。